

高知憲法速報

№149 2008. 3. 21
 発行：高知憲法会議事務局
 088-872-3406
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

後期高齢者医療制度の中止を求める県民集会

3月15日(土) 高新RKCホールで開かれた集会には300人が参加しました。「生きるなというならもっと生きてやる」4月実施を前に、反対する声が大きくなり、怒りが広がっています。田中きよむ・高知女子大教授が制度の問題点について講演。国会で同制度の廃止法案を提出する野党から連帯の挨拶とメッセージが寄せられました。

とさしみず九条の会 住民過半数署名達成

「とさしみず九条の会」は3月13日、取り組んできた「憲法改悪に反対し9条を守り生かす署名」が、土佐清水市の人口17437人の過半数を200人あまり超える8935筆に達したと発表しました。2005年3月21日に結成された「とさしみず九条の会」は2006年3月に全国のトップを切って有権者過半数の署名を集めています。結成3周年を前に当面の目標としてきた、人口過半数を達成しました。「九条守れ」の大型看板も設置し、世論を広げるために意欲的です。

フラスターで宣伝ーイラク戦争開戦5周年

アメリカがイラクへの侵略戦争を開始して5周年の3月20日、高知市の北環状線イオン前で「アメリカはイラクから出て行け」のフラスターを掲げて宣伝しました。人口2700万人のイラクで100万人にのぼる民衆が殺害され、500万人以上が難民となっています。開戦の口実とされた大量破壊兵器も存在せず、フセイン政権とアルカイダの関係もなかったことが明らかになっています。一刻も早くアメリカが撤兵し、追隨してきた日本の自衛隊も撤退させなければなりません。この日の行動には約50人が参加しました。フラスターで視覚から訴えるとともに、代表が宣伝カーからマイクで訴えると、通行する車やバスの中から手を振る人も見受けられました。

自治労連ピースチャレンジャー、出陣！

自治労連は、3月8日本部役職員が夕方3時から、「9条署名地域ローラー作戦」を13人で敢行しました。ハンドマイク・フラスター・署名用紙と画板・特製3色ボールペンを持って3班に分かれ、自治労連会館近くの1つの丁目に入りました。1人がハンドマイク宣伝、1人がフラスターを掲げながら、目に

署名集約状況 3/21現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		1,778
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,494
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,547
小計		68,050
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	70,230
こうち九条の会街頭署名		6,303

も耳にも訴え、地図をもとに2人がインターホンをならし、時には道行く人たちに訴えました。「私は8人兄弟の真ん中の兄が戦死しました。戦争は絶対嫌です」と快くドアを開けて署名してくれたり、「そんなことやって意味があるのか?」と言われた住吉一家の方も、最後は「偉いね」と言って署名するなどびっくりする体験も。公園で遊ぶ子供連れの若いお母さん、お父さんにも、「お子さんの時代に戦争になったら大変。ぜひ署名してください」と訴え署名してもらいました。1時間あまりの行動で署名61筆が集まりました。

(共同センターニュース158号・3月14日より)

